

ブライダル・ホテル 科

講 義 名	コミュニケーション				
概要と目的	社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を身につける				
担 当 者	岡部泰幸	単位数	34 時限	区分	講義
実務経験					
講義対象	2 年	時 期	通年		
使用教材	オリジナルプリント教材				
到達目標	柔軟かつ寛容な聴き方・伝え方・受け取り方ができるような人間に成長する その場にあった適切かつ円滑なコミュニケーションがとれるようになる				
成績評価	期末試験 A～C 評価・出席率・授業態度も考慮 原則 A 判定が全体の上位 25%、B が次の 45%、C が下位 30% とする。				
授業計画					
1	授業ガイダンス コミュニケーションとは				
2	ラポールとは				
3	ワーク「ラポールを感じる」				
4	PSA パーソナリティ診断				
5	ラポール形成とは				
6	ワーク「キャリブレーション」				
7	ワーク「ラポール形成」				
8	合同ワーク「合意形成ゲーム」				
9	合同ワーク「合意形成ゲーム」				
10	きくこととは				

1 1	PSA パーソナリティ診断ふりかえり
1 2	質問とは（オープクエスチョン・クローズドクエスチョン）
1 3	アサーションとは
1 4	チームワークとは
1 5	ワーク「チームワーク」
1 6	前期学期末試験 レポート「円滑なコミュニケーションをとるために」
1 7	前期学期末試験 レポート「円滑なコミュニケーションをとるために」
1 8	人間関係をつくるとは
1 9	情報を伝達するとは
2 0	協力を獲得するとは
2 1	豊かな心とは
2 2	ワーク「ユニバーサルサービス 1」
2 3	ワーク「ユニバーサルサービス 2」
2 4	ワーク「ユニバーサルサービス 3」
2 5	ワーク「ユニバーサルサービス 4」
2 6	多様性を受け入れる社会とは
2 7	レポート「豊かな心」
2 8	観察力とは
2 9	発想力とは

30	ワーク「奈々子に」
31	素直さとは
32	3分間スピーチ準備
33	後期学期末試験 「3分間スピーチ」
34	後期学期末試験 「3分間スピーチ」

有資格者	実務経験者	校長	所属	
			学科長	担当
有				